

四半期報告書

(第38期第2四半期)

自 平成21年7月1日

至 平成21年9月30日

曾田香料株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

(E01043)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8

2 株価の推移

3 役員の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月10日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町2番3号(本社事務所)
【電話番号】	03(5645)7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期 連結累計期間	第38期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結会計期間	第38期 第2四半期 連結会計期間	第37期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高（千円）	10,185,135	8,080,321	5,122,138	4,306,627	18,517,210
経常利益（千円）	1,503,713	476,619	759,505	274,573	2,085,494
四半期（当期）純利益（千円）	911,394	249,758	464,895	140,687	1,253,446
純資産額（千円）	—	—	11,416,361	12,044,239	11,626,037
総資産額（千円）	—	—	19,049,128	18,697,664	18,336,826
1株当たり純資産額（円）	—	—	1,142.04	1,186.56	1,150.66
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	91.17	24.98	46.50	14.07	125.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（％）	—	—	59.9	63.4	62.7
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	838,032	539,849	—	—	1,027,357
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△412,944	△708,810	—	—	△740,248
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△600,671	379,599	—	—	△500,593
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	—	2,774,500	2,978,158	2,720,889
従業員数（人）	—	—	360	415	367

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	415	(40)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	292
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、含まれておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
フレグランス (千円)	383,527	81.8
フレーバー (千円)	1,764,238	125.4
合成香料・ケミカル (千円)	1,066,888	45.2
合計 (千円)	3,214,654	75.9

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 連結会社間の取引が複雑で、生産高を正確に把握することは困難なため、概算値で表示しております。

(2) 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間における商品仕入実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
フレグランス (千円)	53,193	101.7
フレーバー (千円)	584,003	89.6
合成香料・ケミカル (千円)	302,261	75.5
合計 (千円)	939,459	85.1

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当第2四半期連結会計期間における受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
製品				
フレグランス	346,028	89.4	62,221	125.0
フレーバー	1,667,735	118.7	200,491	102.4
合成香料・ケミカル	1,326,661	63.2	204,968	144.6
小計	3,340,425	85.9	467,682	120.8
商品				
フレグランス	65,256	88.9	8,934	45.2
フレーバー	633,212	94.2	99,256	85.3
合成香料・ケミカル	329,743	85.5	43,268	114.7
小計	1,028,212	90.9	151,458	87.2
合計	4,368,638	87.0	619,140	110.4

- (注) 金額は販売価格で表示しております。

(4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比 (%)
製品		
フレグランス (千円)	363,968	97.5
フレーバー (千円)	1,650,863	116.6
合成香料・ケミカル (千円)	1,278,552	58.7
小計 (千円)	3,293,384	83.0
商品		
フレグランス (千円)	65,520	101.6
フレーバー (千円)	618,609	92.7
合成香料・ケミカル (千円)	328,694	77.7
小計 (千円)	1,012,824	87.7
その他 (千円)	418	46.7
合計 (千円)	4,306,627	84.1

(注) 1. 前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
D I C株式会社	876,179	17.1	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年の米国発金融危機に端を発した世界的不況により極めて厳しい状況下にあります。企業の在庫調整が進展し、輸出と生産が下げ止まりつつあるものの、企業の利益水準は依然低位にあり、雇用・所得環境は急速に悪化しており、設備投資も回復の兆しが見えず、経済環境の先行きは依然厳しい状況にあり、本格的な景気回復にはまだ時間がかかるものと思われまます。

香料業界におきましても、不況による最終製品の買い控えや天候不順等の影響により国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで、消費者の低価格志向を背景として最終製品価格も低下しており、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間は、昨年同期以降の世界的不況の影響を強く受けた合成香料・ケミカル製品の大規模販売量減とそれに伴う生産調整による製造原価アップ等により、売上高は4,306百万円（前年同期比15.9%減）、営業利益は294百万円（同60.7%減）、経常利益は274百万円（同63.8%減）、四半期純利益も140百万円（同69.7%減）となりました。

(注記) 当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間末と比較して49百万円増加し、2,978百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは78百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は256百万円（前年同四半期は420百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が273百万円、減価償却費が172百万円、たな卸資産が584百万円の減少となり、また売上債権が574百万円の増加となったこと及び各種引当金の増加とその他流動負債の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は177百万円（前年同四半期は215百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出172百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は30百万円（前年同四半期は0百万円の使用）となりました。これは、主に借入金の返済30百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、213百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	ジャスダック証券取引所	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	10,000	—	1,490,000	—	1,456,855

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1	5,001	50.01
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	1,500	15.00
曾田香料従業員持株会	東京都中央区日本橋小伝馬町2-3	395	3.95
曾田 義信	東京都大田区	362	3.62
ゴールドマン・サックスインターナショナル (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB, U.K. (東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー)	269	2.69
谷本 正敏	東京都中野区	210	2.10
エイチエスビーシー ファンド サービスズ クライアーツ ア カウント 500 ピー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1 QUEEN'S ROAD CENTRAL HONG KONG (東京都中央区日本橋3-11-1)	141	1.41
第一生命保険相互会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	120	1.20
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	100	1.00
仙波糖化工業株式会社	栃木県真岡市並木町2-1-10	95	0.95
計	—	8,194	81.94

(注) タワー投資顧問株式会社から平成20年5月21日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年5月15日現在で502千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、タワー投資顧問株式会社的大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者	タワー投資顧問株式会社
住所	東京都港区芝大門1丁目12番16号 住友芝大門ビル2号館2階
保有株券等の数	株式 502,000株
株券等保有割合	5.02%

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 3,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,992,000	9,992	—
単元未満株式	普通株式 5,000	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,992	—

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,000	—	3,000	0.03
計	—	3,000	—	3,000	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高 (円)	820	773	720	750	735	700
最低 (円)	790	670	680	695	680	670

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,978,158	2,720,889
受取手形及び売掛金	4,541,163	3,596,801
商品及び製品	1,420,447	1,759,880
仕掛品	1,647,129	1,924,562
原材料及び貯蔵品	1,284,762	1,250,829
その他	365,674	340,299
貸倒引当金	△14,102	△3,289
流動資産合計	12,223,235	11,589,973
固定資産		
有形固定資産	※1 4,949,613	※1 5,158,281
無形固定資産	※3 116,550	※3 122,135
投資その他の資産	1,408,265	1,466,434
固定資産合計	6,474,429	6,746,852
資産合計	18,697,664	18,336,826
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,874,216	1,673,086
短期借入金	1,070,300	1,000,000
未払法人税等	186,752	307,225
賞与引当金	349,888	409,356
役員賞与引当金	4,531	11,297
その他	446,290	999,108
流動負債合計	3,931,980	4,400,074
固定負債		
長期借入金	700,000	300,000
退職給付引当金	1,819,055	1,825,724
役員退職慰労引当金	98,827	156,614
その他	103,561	28,375
固定負債合計	2,721,444	2,310,714
負債合計	6,653,425	6,710,788

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	8,870,765	8,605,209
自己株式	△2,361	△2,361
株主資本合計	11,815,259	11,549,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116,472	74,307
繰延ヘッジ損益	△562	△25,058
為替換算調整勘定	△69,742	△96,391
評価・換算差額等合計	46,166	△47,143
少数株主持分	182,813	123,477
純資産合計	12,044,239	11,626,037
負債純資産合計	18,697,664	18,336,826

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	10,185,135	8,080,321
売上原価	6,725,545	5,678,357
売上総利益	3,459,590	2,401,964
販売費及び一般管理費	※1 1,970,546	※1 1,877,472
営業利益	1,489,043	524,491
営業外収益		
受取利息	5,203	1,717
受取配当金	7,760	8,068
持分法による投資利益	8,212	—
その他	7,464	7,439
営業外収益合計	28,640	17,225
営業外費用		
支払利息	6,235	8,781
債権売却損	5,145	426
休止固定資産減価償却費	—	50,803
その他	2,589	5,087
営業外費用合計	13,971	65,098
経常利益	1,503,713	476,619
特別利益		
貸倒引当金戻入額	284	—
特別利益合計	284	—
特別損失		
固定資産除却損	3,255	2,376
和解金	12,000	—
特別損失合計	15,255	2,376
税金等調整前四半期純利益	1,488,742	474,242
法人税等	577,347	※2 203,671
少数株主利益	—	20,811
四半期純利益	911,394	249,758

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	5,122,138	4,306,627
売上原価	3,378,451	3,090,958
売上総利益	1,743,686	1,215,669
販売費及び一般管理費	※1 993,506	※1 920,825
営業利益	750,179	294,844
営業外収益		
受取利息	2,427	1,129
受取配当金	1,936	3,752
持分法による投資利益	6,311	—
その他	5,180	5,134
営業外収益合計	15,855	10,016
営業外費用		
支払利息	2,467	4,540
債権売却損	2,576	185
休止固定資産減価償却費	—	25,394
その他	1,485	166
営業外費用合計	6,529	30,287
経常利益	759,505	274,573
特別利益		
貸倒引当金戻入額	865	—
特別利益合計	865	—
特別損失		
固定資産除却損	1,347	880
和解金	12,000	—
特別損失合計	13,347	880
税金等調整前四半期純利益	747,023	273,693
法人税等	282,128	※2 116,652
少数株主利益	—	16,352
四半期純利益	464,895	140,687

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,488,742	474,242
減価償却費	319,518	342,072
のれん償却額	—	8,181
固定資産除却損	2,174	2,356
持分法による投資損益(△は益)	△8,212	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△284	7,927
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,233	△60,215
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,615	△6,766
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,635	△64,455
受取利息及び受取配当金	△12,963	△9,785
支払利息	6,235	8,781
和解金	12,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△440,987	△766,953
たな卸資産の増減額(△は増加)	△712,831	674,623
仕入債務の増減額(△は減少)	773,326	160,385
その他の流動負債の増減額(△は減少)	—	85,341
その他	△48,265	△8,115
小計	1,405,706	847,620
利息及び配当金の受取額	30,679	9,542
利息の支払額	△6,244	△8,519
和解金の支払額	△6,000	—
法人税等の支払額	△586,109	△308,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	838,032	539,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△7,201	△7,900
有形固定資産の取得による支出	△392,369	△701,443
無形固定資産の取得による支出	△13,581	△1,080
その他	207	1,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412,944	△708,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	69,700
長期借入れによる収入	—	400,000
自己株式の取得による支出	△837	—
配当金の支払額	△99,833	△79,987
少数株主への配当金の支払額	—	△10,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600,671	379,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	406	6,641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,177	217,279
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677	2,720,889
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	39,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,774,500	※ 2,978,158

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、曾田香料(昆山)有限公司、亞洲台曾香料私営有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 5社
2. 連結子会社の事業年度等に関する事項	第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めている曾田香料(昆山)有限公司、亞洲台曾香料私営有限公司は、決算日が12月31日でありませぬ。四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同四半期決算日現在の四半期財務諸表を使用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書)	前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「休止固定資産減価償却費」(912千円)は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「持分法による投資損益(△は益)」(当第2四半期連結累計期間 184千円)は、その重要性が低くなったことから、当第2四半期連結累計期間より営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。
	前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「その他の流動負債の増減額(△は減少)」(△18,190千円)については、その重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結貸借対照表)	「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)の適用に伴い、前第2四半期連結会計期間において、「原材料」と流動資産の「その他」に含めていた「貯蔵品」(55,508千円)は、当第2四半期連結会計期間は「原材料及び貯蔵品」と一括して掲記しております。なお、当第2四半期連結会計期間に含まれる「原材料」「貯蔵品」は、それぞれ1,233,630千円、51,132千円であります。
(四半期連結損益計算書)	前第2四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「休止固定資産減価償却費」(481千円)は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記しております。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,946,527千円 であります。</p> <p>2. 偶発債務</p> <p>(1) 連結子会社の金融機関からの借入に対し、債務保証 を行っております。</p> <p>曾田香料(昆山)有限公司 35,380千円</p> <p>(2) _____</p> <p>※3. 無形固定資産には、のれん69,541千円が含まれて おります。</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,609,748千円 であります。</p> <p>2. 偶発債務</p> <p>(1) _____</p> <p>(2) 債権流動化に伴う買戻義務額 190,536千円</p> <p>※3. 無形固定資産には、のれん77,722千円が含まれて おります。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 556,698千円</p> <p>賞与引当金繰入額 299,791</p> <p>役員賞与引当金繰入額 7,601</p> <p>退職給付費用 106,779</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 16,512</p> <p>_____</p>	<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 558,086千円</p> <p>賞与引当金繰入額 219,044</p> <p>役員賞与引当金繰入額 4,531</p> <p>退職給付費用 103,541</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 12,885</p> <p>※2. 法人税、住民税及び事業税、及び法人税等調整額 については、法人税等として一括して表示しており ます。</p>

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 265,738千円</p> <p>賞与引当金繰入額 166,393</p> <p>役員賞与引当金繰入額 3,800</p> <p>退職給付費用 53,965</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 9,042</p> <p>_____</p>	<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 286,073千円</p> <p>賞与引当金繰入額 95,015</p> <p>役員賞与引当金繰入額 1,619</p> <p>退職給付費用 50,830</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 6,966</p> <p>※2. 法人税、住民税及び事業税、及び法人税等調整額 については、法人税等として一括して表示しており ます。</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (千円)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 2,774,500	現金及び預金勘定 2,978,158
現金及び現金同等物 2,774,500	現金及び現金同等物 2,978,158

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 10,000千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 3千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	79,971	8	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月5日 取締役会	普通株式	59,978	6	平成21年9月30日	平成21年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高(千円)	517,837	510,481	119,196	59,720	1,207,236
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	5,122,138
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.1	10.0	2.3	1.2	23.6

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高(千円)	787,512	244,231	148,038	51,503	1,231,285
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,306,627
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.3	5.7	3.4	1.2	28.6

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,098,335	1,053,628	309,886	121,059	2,582,910
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	10,185,135
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.8	10.4	3.0	1.2	25.4

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,468,939	374,395	189,213	105,669	2,138,217
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	8,080,321
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.2	4.6	2.4	1.3	26.5

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の子会社は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州…スイス、英国、フランス
- (3) 北米…米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日）

当社グループの利用しているデリバティブ取引にはヘッジ会計が適用されているため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 1,186円56銭	1株当たり純資産額 1,150円66銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 91円17銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 24円98銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(千円)	911,394	249,758
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	911,394	249,758
期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 46円50銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 14円07銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(千円)	464,895	140,687
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	464,895	140,687
期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っており、かつ、当該取引残高が、前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2 【その他】

平成21年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………59百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………6円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成21年12月10日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月4日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 光信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月2日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。